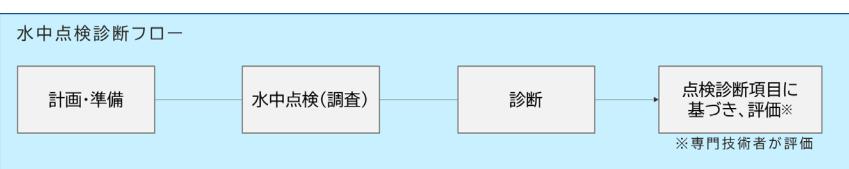


## テーマ型共創フロント 募集シート

### ■提案の募集内容について

募集テーマ	新技術による護岸の水中点検を推進する事業者の募集
提案の募集対象 (テーマに関連する事業等の概要)	<p>・護岸の維持管理に関して、水中点検診断の精度向上や効率化、安全性の向上を図るため、潜水士による点検作業のDX化を推進する事業者を募集します。</p> <p>・点検作業のDX化について、別紙に定める全ての点検項目の診断・評価が実施可能な技術のご提案をいただきたいと考えています。</p> <p>・点検診断は、国交省が定める「港湾の施設の点検診断ガイドライン」に準拠するものとし、別紙に定める全ての点検項目について、点検・診断・評価ができる技術の実証実験を行い、精度等の確認を行います。</p>  <p>※専門技術者が評価</p>
提案を募集する背景・課題	<p>港湾施設の中でも護岸は、津波や高潮などの自然災害から国土を守るために、非常に重要な防災機能を担っています。そのため、護岸の安全性と機能を維持することが不可欠であり、定期的な点検によってその健全性を確保する必要があります。</p> <p>しかし現在、この点検業務に従事する潜水士などの専門人材が不足しており、護岸の健全性を維持する体制が十分に整っていない状況です。点検作業は水中での危険を伴い、作業環境も厳しいため、人材の確保がますます困難になっています。</p> <p>さらに、老朽化が進む構造物の維持管理にかかる費用も年々増加しており、作業の効率化やコスト削減が急務となっています。</p> <p>こうした課題を解決するため、技術提案の募集をYokohamaHackで実施し、様々な新技術の活用方を提案いただきました。</p> <p>ただし、横浜市の港湾施設での水中部における点検・診断評価の新技術での実績はまだなく、実用化に向けては技術の適用性や精度検証などの課題が残されています。</p>
課題によって ①誰が ②どう困るのか	<p>① すべての人</p> <p>② 点検が十分に行われなくなると、護岸の劣化や損傷を早期に発見できず、放置されたまま進行する可能性があります。護岸は、背後の土地や施設を保護する役割を担っているため、損傷が進行すると、港湾施設全体の安全性や機能性が損なわれ、経済活動や地域住民の生活に深刻な影響を及ぼす可能性があります。さらに、劣化が進んだ護岸の補修には多額の費用がかかります。</p>
課題に対して横浜市 が現在どう関わっているのか	横浜市は、港湾施設の老朽化対策という課題に対応するため、護岸を含む構造物に対して定期的に潜水士による点検、および診断評価を実施しています。これらの点検結果に基づき、必要な補修や更新を計画的に行うことで、構造物の安全性と機能の維持に努めています。
募集対象  ※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	<p><input checked="" type="checkbox"/> <b>■ 公民連携の提案及び連携事業者の募集</b> ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。</p> <p><input type="checkbox"/> <b>□ 公民連携の提案のみの募集</b> ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。</p>
横浜市が希望する 提案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙に定める全ての点検項目の点検作業が可能な技術</li> <li>・評価については専門技術者が実施</li> </ul>

	※診断・評価のDX化については必須ではありません
<b>想定する提案の例</b>	フォトグラメトリを活用した点検診断 等

**■提案にあたっての条件**

<b>募集期間</b>	令和7年11月4日（火）～令和7年11月28日（金）
<b>実施予定時期</b>	令和7年12月～令和8年7月
<b>提案の形式</b>	様式3の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です
<b>提案の選定方法</b> ※チェックのある方法で選定します	<p>■特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない）</p> <p><input type="checkbox"/>審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む）</p> <p><input type="checkbox"/>提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
<b>横浜市から提供できるメリット</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験フィールドの提供をします。</li> <li>・水域利用にあたる必要な手続きの支援をします。</li> <li>・官民協働の取組として紹介し、企業のブランド価値向上に寄与します。</li> </ul>
<b>横浜市の予算措置の可能性</b>	予定していません。
<b>その他の留意点</b>	ガイドラインの診断項目（別添）
<b>提案のお申込み先・内容についてのお問い合わせ先（事業所管部署）</b>	横浜市港湾局建設第二課 TEL 045-671-2897 FAX 045-671-0825 E-mail kw-kensetsu2@city.yokohama.lg.jp